



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり



笹巻きき
つくれたよ。

〔6月11日 三刀屋保育所〕

市

Public Relations

報

んなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

2007

7

No.32

- 2-3 第2回 地域振興補助金活用事業報告会
- 4-7 雲南ニュース
- 8-9 国際交流員の迷言コーナー ほか
- 10-11 ふるさとウォッチング
- 12 私たちのまち 雲南市のまちづくり基本条例 シリーズ④
- 13 安心して過ごせる居場所「ふあーすと」の紹介
- 14-20 雲南市からのお知らせ



第2回 地域振興補助金活用事業報告会

【問】 地域振興課
☎ 0854-40-1013

地域振興補助金制度とは、「市民と行政の協働によるまちづくり」を提唱する雲南市が、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現をめざし、地域や市民の皆さんが自主的に企画・提案し取り組む活動に要する費用を補助する制度です。平成18年度は、地域自主組織（90事業）、まちづくりグループ（90事業）、NPO法人（7事業）により、豊かな地域社会の実現に向けた積極的な取り組みが行われました。（地域振興補助金交付額は4,617万円でした。）



加本 侑二 さん

「田舎暮らし体験ツアー」や大阪府吹田市で行った「UIターン呼びかけ交流会」などの実践結果について発表されました。

パネルディスカッション

パネルディスカッションで



多々納 正義 さん

が全体的な広がりを見せることへの可能性を示唆する意見や、今後の活動財源の確保を不安視する意見が出されました。財源確保問題についてはパネリストらの関心も高く、「費用対効果などを考慮した事業展開」や「地域自主組織、まちづくりグループなどが連携し、互いの機能を補完した総合的な活動展開」が必要であるなど、今後活動を進める上での一つの方向性が示されました。

基調講演

「地方における地域社会変革とベンチャーの取り組み」と題して、島根県立大学講師

6月9日、チエリヴァホールで第2回地域振興補助金活用事業報告会が開催され、事例発表やパネルディスカッションなどが行われました。

事例発表

その活動が高く評価されている「日本たまごかけごはんシンポジウム実行委員会」（3月14日 地域づくり総務大臣表彰受賞）と「海潮地区振興会」（3月1日 県民いきいき活動奨励賞受賞）の2団体から取り組みが報告されました。

実行委員会の多々納正義さん、昨年度開催したシンポジウムの様子を紹介しながら、「地域住民の理解を得ながら活動に発展性を持たせること」や「自立した運営を行うための財源確保（現在は、地域振興補助金を利用）」などが市民活動を維持・発展させていく上での課題であると話されました。



多々納 正義 さん



の松永桂子先生にご講演いただきました。松永先生は、桜江町の桑の葉を使った商品開発などを例えに、地域資源を生かした特産品販売などで利益を追求し、人々の生活を豊かにするコミュニケーションビジネスの可能性について話され、補助金交付終了後の活動財源確保の観点からも「ソーシャル・エンタープライズの視点を市民活動に取り入れてはどうか」と提案されました。

ソーシャル・エンタープライズとは...

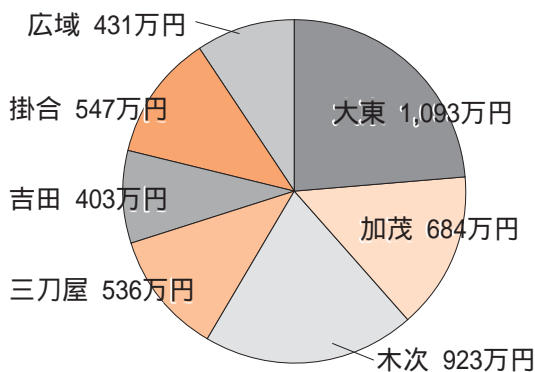
社会的企業とも呼ばれます。ソーシャル・エンタープライズが一般の企業と異なるのは「社会的課題の解決」を第一の目的としている点です。目的達成に向けた事業活動を持続するための財源確保手段として、地域の特性を生かした利益追求活動を行います。



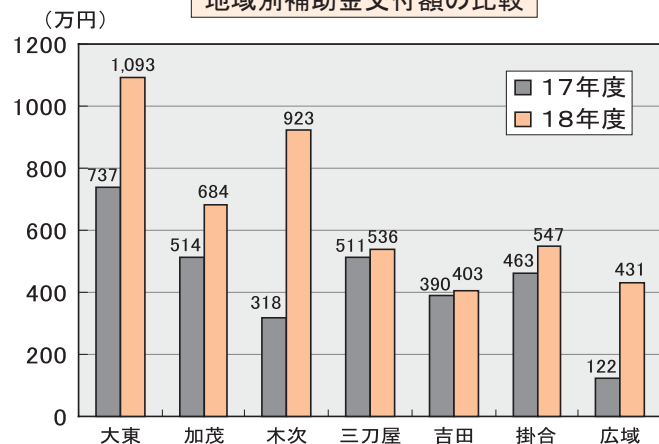
松永 桂子 先生

グラフで見る地域振興補助金

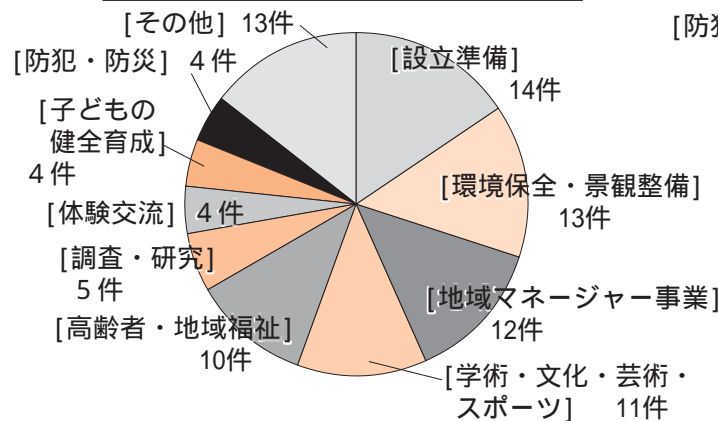
地域別補助金交付額



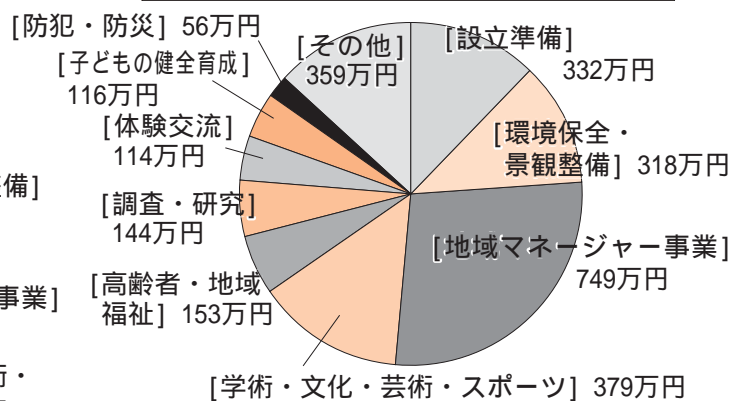
地域別補助金交付額の比較



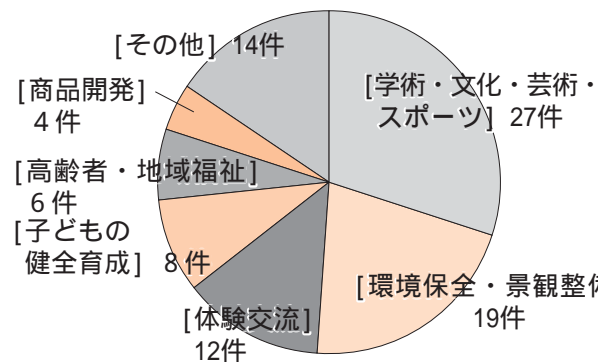
事業内容別事業件数 [地域自主組織]



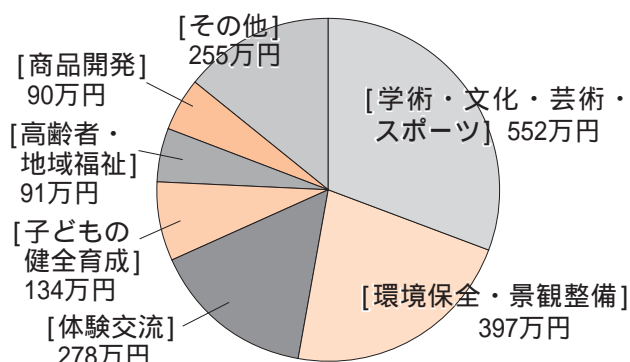
事業内容別補助金交付額 [地域自主組織]



分類別事業件数 [まちづくりグループ]



分類別補助金交付額 [まちづくりグループ]



NPO法人への補助金（100万円）は設立、運営に対するもので、グラフを省略しています。各事業への補助金交付状況については、雲南市ホームページの「地域振興補助金」コーナーに掲載しています。

雲南ニュース

これからもこの土地で 芦谷地区ほ場整備完了



5月26日、吉田町芦谷地区でほ場整備の竣工式が行われ、参加した県、市の担当者や地元住民らが、整備された農業環境を基にして集落を発展させていくことを誓い合いました。

「集落の発展にはほ場整備が不可欠」と、県管飯石南地区中山間地域総合整備事業 芦谷工区ほ

5月27日、旧町村にあったふるさと会を連携・統合した「雲南市東京ふるさと会」の設立総会が東京都千代田区



故郷は遠くにありて 東京ふるさと会を設立

のアルカディア市ヶ谷で約120人の会員の出席のもと盛大に行われました。初代会長に就任された難波明さん（三刀屋町出身）から「統合したふるさと会を徐々に大きくしていき、継続していくことが大事である。今後は東京からふるさと雲南市を支援していきたい」と頼もしい言葉をいただきました。

速水市長は、「豊かな自然環境や歴史・文化にあふれ、安全で新鮮な食材の宝庫である雲南市に、約2年半で100名の定住者を迎えたこと」などを報告し、「ふるさとへの誇りを胸に会員相互の団結を深めてほしい」と同会の発展を願いました。

この日は、会員同士の再会や旧町村の垣根を越えた新たな出会いが見られ、初会合は大盛況のうちに幕を閉じました。



難波 会長

場整備事業」により、平成16年度から事業費7、865万円をかけて、3・8haの水田、0・2haの畑、2、000mの水路を整備。

竣工式で芦谷工区ほ場整備事業委員会の多賀勇委員長は、「広くなった田んぼで大型の機械を使えるようになった」と小さな田んぼでの労苦を振り返りながら、「戸数も若者も少ない集落で、高齢化の問題も解決したわけではないが、この状況を前向きに捉えて、生まれ育ったこの土地でますますがんばっていく」と、決意も新たに力強くあいさつされました。

今後、農業生産基盤の向上はもとより、後継者の定住や豊かな自然環境の保全が進み、当集落がますます発展することを期待しています。



環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり 大東浄化センター完成



日本下水道事業団 島根事務所の太田秀司所長(中央)から施設の説明を受ける

設では県内で初めての「膜分離活性汚泥法」という処理方式を導入しています。膜分離装置（有機平膜ユニット）が汚水をろ過しきれいな水と汚泥に分離するもので、清澄な処理水を得ることができます。高度な水処理だけでなく、代表的な下水処理方式オキシデーションデイツチ法（OD法）と比べて省スペースであり、維持管理が容易なことも、膜分離活性汚泥法の特長です。快適で住みよい生活環境が整備され、今後処理区内の各家庭が積極的に下水道に接続することにより、大東町中心部の発展と赤川などの水質保全が図られることが期待されます。

5月28日、大東浄化センターの竣工式が行われ、参加者が下水道施設の完成を祝いました。大東町飯田内に完成した大東浄化センターは、平成12年度に旧大東町が策定した「大東町特定環境保全公共下水道事業計画」に基づき、6カ年、およそ9億円の事業費をかけて整備されました。

同施設は、公共下水道処理施



膜ろ過ポンプ

雲南市長の「コ・ラ・ム

「幸運なんです。雲南です。」の言葉を、3月議会で表明しました。雲南市の総力を結集し、自立した、魅力ある雲南市を創り上げていくための「雲南ブランド化プロジェクト」を進めるにあたり、まずは雲南市そのものをブランド化する言葉として掲げました。

雲南市は素晴らしい自然、多彩な歴史文化、安心安全な食材等に恵まれています。こうした素晴らしい地域資源に気付き、活かし、産業やコミュニティ活動の活性化、交流人口の拡大を図っていく「雲南ブランド化プロジェクト」について6月議会で重ねて表明しました。

今、地方は過疎、高齢化、財政問題、医師不足等様々な問題を抱えています。都会にはないものを持っているのも事実です。そして、全国各地で地域特有の資源を活かして頑張っている自治体が沢山あるのも事実です。

雲南市も負けてはいられません。せっかく誕生した新生雲南市です。知恵を出し工夫を凝らし競い合い協力し合っ

て、心底「幸運なんです。雲南です。」と言えるように、雲南市創りに頑張りますよ。



記者会見にて（5月30日）

市民活動の活性化・広域化に期待を寄せて
地域委員会連絡会



安井会長(右)と速水弘子副会長

6月1日、本年度第1回目となる地域委員会連絡会が開催されました。地域委員会連絡会は、各町地域委員会の代表者2名、有識者2名(合計14名)の委員で構成されています。地域委員会が町単位で行われる市民活動への審議を行うのに対し、連絡会では、2町以上にわたるまちづくりグループ、NPO法人が企画する市民活動に対し

る地域振興補助金の交付審査や、地域委員会間の連絡・調整及び各町で行われている市民活動についての意見交換などを行います。

この日の会議では、委員への委嘱状交付や正副会長の選出が行われました。会長に就任した安井誉さん(再任)は、前任期間を「市民活動の推進に向け、礎を築いた2年間だった」と振り返り、「本年度からは各地で活動の本格化が予想されるため、連絡会としても真価の問われる重要な2年間となる。気持ちを新たにまい進したい」とあいさつされました。

これまで育てられてきた市民活動の芽が、成長・開花することが期待されます。

雲南地域の医療の充実に向けて

シンポジウム開催

6月2日、「第2回雲南の地域医療を考えるシンポジウム」がチェリヴァホールで開催され、参加者が医師不足などの医療課題について話し合いました。

浜田市国民健康保険弥栄診療所長の阿部顕治氏は基調講演で、浜田市の実践として、医師と行政が一体となって、中山間地域の医療に取り組んだことや病気がかかってからの対応よりも、日ごろの予防に力を入れていることを紹介。「都市部の病院や地元の開業医と連携しながら、それぞれが役割を果たすことが重要」と話されました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、様々な立場の代表者が集まり、今後の課題解決に向けた方策を議論しました。住民の立場で参加の景山純孝さんは、自身の体験を踏まえながら「近くに雲南病院(総合病院)があることで、安心・安全な生活を実感できた。厳しい状況であるが、なんとか以前のような体制を取り戻し、より充実した医療環境を整備してほしい」と発表されました。

一般参加者からは「今日の話聞いて、状況や問題点がわかった。みんなで地域の医療を支えていくため、こうしたシンポジウムを定期的で開催してほしい」との意見が寄せられました。



雲南ニュース

6月6日、出雲空港を利用して東京・出雲間を行き来する乗客に、奥出雲薔薇園のバラをプレゼントし、同園を県内外にアピールしました。

今回のバラプレゼントは、出雲・東京線54万人達成記念キャンペーンの一



5月18日、奥出雲薔薇園を運営するフレグランス・ロゼの福岡厚社長(右)と速水市長はバラを増産するための事業拡大に伴う覚書をかわしました

環として行われ、雲南市は地元や東京に向けての市の情報発信を目的に取り組みました。9時40分に東京からの到着便利利用者と10時30分に東京に向かう出発便の利用者に雲南市及び奥出雲薔薇園のパンフレットとともに香りの薔薇「さ姫」をプレゼントしました。

この日は、離島の際に出雲空港にいあわせた元宝塚歌劇団の鳳蘭さんに、飛び入りでプレゼントに加わっていただききました。バラを手渡された人は、驚きながらも、突然の出来事を歓迎していました。

和やかな雰囲気の中、空港ロビーは、さ姫の甘い香りに包まれていました。

避難経路などを確認

雲南市防災訓練

5月27日、木次町斐伊地区で雲南市防災訓練があり、梅雨の雨季を前に、災害時の情報伝達方法や、避難場所・避難経路などを確認しました。

避難訓練では、1時間に40mm以上の激しい雨が降り続き、「土砂災害危険度」がレベル4に達した状況を想定。午前8時50分に避難勧告が出されると、住民は近所同士声をかけあい、避難所までの安全な経路を確認しながら粛々と訓練を行っていました。

避難訓練終了後、斐伊地域防災会議が開催され、「より安全な避難体制の確立」や「素早く危険を察知し避難を



雲南消防本部による救助訓練の実演も行われました

促す地域リーダーの育成」について話し合われました。

災害発生時は住民の持つ土地感が危険回避に大きく役立つと。有事の際の有効な備えとして、地域における自主的な取り組みを強化したいものです。

新たな観光資源として
薔薇のプレゼント



7月で**満1歳**
おめでとう

わが家の **HOPE**

河原史博さん・有紀さんのお子さん



たいよう
大耀ちゃん (三刀屋町古城)
平成18年7月17日生まれ
いつも笑顔ありがとう！ホテルを見たり花火をしたりしようね。

門脇靖幸さん・佳世子さんのお子さん



ニコちゃん (大東町大東)
平成18年7月29日生まれ
1歳の誕生日おめでとう。毎日ニコニコ元気で大きくなってね！

多田納誠一郎さん・幸子さんのお子さん



さき
咲綺ちゃん (加茂町三代)
平成18年7月13日生まれ
さきちゃんお誕生日おめでとう！たくさん笑って元気にのびのび育ってね！

河角拓弥さん・沙織さんのお子さん



のの
乃々葉ちゃん (木次町山方)
平成18年7月7日生まれ
たんじょう日おめでとう。いつも笑顔ののんちゃん。すくすく元気に育ってね。

陶山 良さん・瞳さんのお子さん



はじめ
一ちゃん (三刀屋町粟谷)
平成18年7月25日生まれ
お誕生日おめでとう！なっちゃんといけずいっぱいして、大きくなってね☆

長谷川直人さん・瑠梨華さんのお子さん



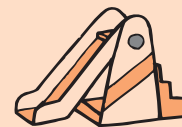
るなき
瑠那姫ちゃん (木次町下熊谷)
平成18年7月10日生まれ
7月でやっと1歳になりました。これからもすくすくと育ってね！

藤原武志さん・裕子さんのお子さん



もな
百菜ちゃん (大東町田中)
平成18年7月8日生まれ
もな誕生日おめでとう！！いっぱい笑って、いっぱい遊んで大きくなってね。

8月で**満1歳**(平成18年8月生まれ)になるお子さんを募集！



写真にコメント(40字程度)を添え、郵便またはメールで**7月5日(木)**までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015 E-Mail: jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
市ホームページにも市報うんなんを掲載します。

国際交流員(CIR)の迷言コーナー

Hello Everyone うん、なんでしょ?



こんにちは！ガブリエルです。

私が雲南市に去年の8月に来て以来、1年近くが経ちましたので、この何ヶ月間の経験を考えているところです。来る前に雲南市について何も知りませんでした。日本の都会の生活しか経験したことがなかった私の頭でいろいろなイメージが浮かんで来ました。「皆がなまって話すかなあ?」「冬は頑張らなくちゃ!」「コンビニがあるかしら?」などを考えました。

数ヶ月前、同じ国際交流員のヒメネズさんと2人で公民館の座談会に出て、「ステレオタイプ(stereotype)」についてのディスカッションをしました。「ステレオタイプ」というのは、ある言葉を聞いてすぐ頭に浮かぶイメージ(固定観念)です。例えば、「アメリカ人」と聞くと、ほとんどの皆さんに金髪の白人のイメージが浮かぶのではないかと思います。

このディスカッションの参加者に日本でよく聞かれるアメリカのステレオタイプを聞いて黒板に書きました。「サイズがデカイ」、「毎週ダンスパーティ

ー」、「ステーキをたくさん食べる」などいろいろありました。ヒメネズさんと私はアメリカでよく聞かれる日本のイメージを説明しました。「皆が忍者」、「毎日すしを食べる」や「仕事中毒」などを書いて、皆が見て笑いました。今その2つのリストを見ると、笑います。

国民、国柄、田舎など、何に対しても、体験する前のイメージは事実とよく合わない場合が多いですね。私は雲南市に来る前、いろいろな心配があったけれども、予想に反して、5回の来日の経験の中で雲南市は1番気に入ったところです。外国に行くこと、国籍が違う人と話して友達になることも冒険だし、決して忘れられない経験になります。機会があれば、ぜひ自分でその事実を体験してみてくださいね!



こんにちは、
保健師
です。
28

乳がん検診を受けましょう

近年、日本人の25人に1人が、乳がんにかかると言われ、女性の壮年層(30〜64歳)におけるがん死亡の原因のトップになっています。その数は年々増加し、今では、年間約1万人の女性が乳がんで死亡しています。

雲南市では、この状況を受け、昨年まで視触診を中心とした乳がん検診を行ってきました。

しかし、年1回の視触診だけでは、小さながんの発見が困難でした。月に1回の自己検診に合わせ、近年登場したマンモグラフィ検診を受診することが重要になってきたのです。

★自己検診の実施方法★
まず、検診日を決めます。閉経前の方は生理後1週間を目安に、閉経後の方は毎月一定の日(誕生日の日など)にします。

入浴後などに鏡の前に立ち、形や大きさに変化がないか、皮膚がひきつた箇所はないか、横になつて乳房を自分でみてしこりはな

いか、異常な分泌物はないかを確認してください。

自己検診でしこりに触れたら、すぐに受診しましょう。

★マンモグラフィ検診とは?★
マンモグラフィ検診とは、レントゲン撮影により乳がんを診断する方法です。

時間としては、約20分程度。乳房を機械で圧迫しながら、薄く均等に広げます。

こうすることによって、少ないレントゲンの量で、乳房の中をより鮮明に見ることが出来ます。

2年に1回はマンモグラフィ検診を受けましょう

★今年度の雲南市乳がん検診★
今年度から、より小さな乳がんを早期に発見するため、40〜69歳の女性を対象にマンモグラフィ検診を主とした医療機関での乳がん検診を行うことになりました。

実施機関は公立雲南総合病院で、実施期間は6月1日〜11月30日です。

先着450名ですので、希望される方は直接、公立雲南総合病院(☎43・2390)へ予約をしてください。

なお、自己負担額は1、500円です。



5月30日

チャレンジデー2007

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されているチャレンジデー。多くの市民が軽スポーツなどを行いました。

吉田町の田井小学校では、グラウンドゴルフが行われ、地区住民47人が夜の校庭に集まって心地よい汗を流しました。

なお、雲南市は対戦相手の富山県砺波市に僅差で敗れる結果となりましたが、

「チャレンジデーメダル授与基準」により見事メダルを獲得しました。



	雲南市	砺波市
参加者数	24,514人	27,002人
参加率	53.7%	54.5%

5月21~28日

神代神楽ドイツ公演

大東町神楽連絡協議会の会員で結成された出雲神楽・民謡安来節ドイツ公演実施プロジェクト2007（恩田正憲会長）が、安来市の安来節保存会とともにドイツを訪問し、伝統芸能である神代神楽の公演を行いました。



これはフランス在住の日本人、石橋久美さんの尽力と、在デュッセルドルフ日本国領事館や島根県人会等の協力により実現したものです。

今回の公演に参加したのは11人。23日にゾーリングゲン市、25日にジークブルグ市、26日にはデュッセルドルフ市と、3市で「大蛇退治」などの演目を上演しました。3会場の観客動員数は750人の大盛況で、勇壮で神秘的な神楽舞に感動の拍手が会場一杯に鳴り響きました。

恩田会長は、「ドイツの方々に神楽が受け入れられていることを肌で感じることができ、とても感動した。雲南市のPRにも繋がったと思う」と感想を話されました。

6月5日

古代米を植えました

刀屋小学校の児童が学校近くの水田に古代米の苗を植えました。松本古墳を考える会（山根殷福会長）が、放課後子ども教室として、5年生を対象に行いました。同会は、事前に小学校に出向き、子どもたちに、稲の成育や農業の難しさについての講座も行いました。いざ、田植え作業を始めようとすると、多くの児童が「ヒルが怖い」と田んぼに入るのをためらっていました。一度作業に取り掛かると、次々に「苗をください」と叫んでは、田んぼに投げ入れられる苗を受け取って、あっという間に植えてしまっていました。



秋の稲刈りと収穫祭が今から楽しみです。



6月6日

豊かな自然との共生 どんぐりの森づくり

尾原ダム建設現場の森づくり活動の一環となる「植樹祭」が行われ、小学生らが工事現場の緑の復元活動に取り組みました。

この現場では、ダム建設用の道路工事などのために切り崩された山の斜面に「どんぐりの森づくり」と称し、毎年どんぐりの苗木を植樹しています。

斐伊川上・下流域の14校から集まった小学生ら約280人は、NPO法人斐伊川クラブの山谷武理事長から竹ポットに入った苗の植え方を教わり、切り立った斜面に次々と植樹していき



ました。子ども達は、「ちょっと、深く掘りすぎたかな?」「もう少し水をかけたほうがいいよ」と、苗の様子を気遣いながら、一生懸命作業していました。

6月9日

山王寺棚田 田んぼの学校開校

日本の棚田百選に認定されている大東町山王寺の棚田で田んぼの学校が開校し、市内外から参加した23組の親子連れが、ばば引きや手植えを体験しました。

田んぼの学校は、農作業を通して自然を体感し、豊かな農村景観を守り育てる活動として、水士里ネット島根と地元山王寺本郷棚田実行委員会が行っています。友人に誘われて



参加したという出雲市の女性は、「とても楽しかった。朝の雲海もすばらしかったし、棚田を満喫した」と満足そうに話していました。

田んぼの学校は、夏の自然調べや秋の稲刈り、収穫祭へと続きます。



6月8~10日

日本女子ソフトボールリーグ

日本女子ソフトボールリーグ2部第3節島根大会が行われ、木次運動公園野球場と加茂中央公園野球場を会場に、日本トップレベルの熱戦が展開されました。

同大会には雲南市から三洋電機チームも出場。地元の声援を受けながら3勝1敗の好成績で3節を終えました。



シリーズ④
私たちのまち
雲南市の
まちづくり基本条例

雲南市では、市民参加や行政運営のルールなどの基本的事項を定める条例を制定することになりました。基本条例の内容については、市民の皆さん12人による「まちづくり推進懇話会」で検討されています。今回は、第4回まちづくり推進懇話会での主な意見をお知らせします。

「情報」について

雲南市も情報公開に取り組んでいるが、まだまだ非公開の部分も多い。行政の情報公開の仕方は、住民向けと議会向けといった操作が感じられる。行政から発信される情報というのは、非常に分かりづらいため、分かりやすい言葉で伝えることが大切であるが、こうした部分についても市民側からアウトソーシングすることによって解決できるのではないか。また、「よく分かる予算説明書」なども発行されているが、市民に政策も含めた意思決定過程というものが伝わるようにするべきである。情報を受け止める側の責任も非常に大きく、発信される情報に耳を傾けたり、自らが知るという意識を持つことが大切である。

会議の内容は「市報うんなん」や「市ホームページ」で随時お知らせすることとしておりますので、基本条例やまちづくりに関し、自由なご意見をお聞かせください。なお、会議は公開しておりますので、ご覧になりたい方は、事前にご連絡ください。

政策企画部政策推進課
☎0854・40・1011

5月18日(金)、4回目となるまちづくり推進懇話会が開催され、出席した委員は二班に別れて、「人材育成」「子ども」「情報」といったキーワードを中心に意見交換を行いました。



「子ども」について

土地開発や住宅の作り方など、核家族化・少子化を助長してしまっているのではないかと、子どもが監視されているように感じられる。過保護にならないよう、自立に向けての支援が必要である。

子どもの頃からまちづくりを考へる機会を与えることが必要である。PTAや地域が一体となった取り組みが必要である。子どもがいないと地域が成り立たない。子どもは地域の宝である。

「人材育成」について

特定の人に任務が集中しており、他の人の参加の機会が少なくもなっている。地域の核を担う、30〜40代の人に、地域のことに無関心な人が多い。リーダーを中心に地域がまとまるので、リーダーの育成が必要である。人材育成とあわせて、人材の発掘が必要である。(例えば、特技を活かせる場づくり)

若者が培ってきた力を活かせる場を、地域としても提供する必要がある。祭りや伝統行事を維持していくことも、人材育成に繋がる。観光協会の事務局が各総合センターにあるが、行政主導となる要因である。行政にお願いしただけではなく、住民が主体的に進めることが重要で、自発的に取り組むことで人材は育っていく。人材育成には時間がかかる。

安心して過ごせる居場所
「ふあーすと」
の紹介

「安心して過ごせる居場所『ふあーすと』」は、三刀屋川沿いにある文化体育館アスパルに隣接しています。ここには学校に行きにくい小中高生や家に閉じこもりがちな若者がやって来ます。また、スタッフと相談をするためにやって来る家族の方もおられます。

「人と一緒にいると何だかすこく疲れる…」。「人の目が気になる…」。「家にいるしかない…」。「今のままでいいのだろうか…」。「やって来る皆さんは、みんなそれぞれがいろいろな思いをもっています。迎えるスタッフは、そんな方々の思いを



「ふあーすと」の正面玄関



三刀屋川の遊歩道から見た建物と裏庭

まず受け止めることを心がけています。

「もともと運動が好きだけど、家にいるとそんな気分になれない」という人には、プレイルームや裏庭などでできる遊びや軽スポーツがいろいろあります。初めは体を少し動かす程度だったのが、通って来るうちにだんだん楽しくなってきました。そのうち軽スポーツをするのを目的に「ふあーすと」にやって来るようになった人もいます。なにか目的ができる、また別の行動を始めるエネルギーが生まれます。「夕方なら学校に行けるかも…」。「電話なら友達と話してみてもいいかも…」といったぐあいに



多目的に使えるプレイルーム

また、スタッフと接しているうちに、人付き合いで感じていたストレスをそれほど感じなくなり、少しずつ自信を持つことができた人もいます。



個室としても使える相談室

「今は静かに時間を過ごしたい」という人には、個室のように使える部屋もあります。(もちろんプレイルームでも過ごしても構いません。)「ずっと一人きりがいいわけじゃなくて、時々スタッフとおしゃべりを

してみたい」という人には、様子をしながら声を掛けるようにしています。

一人で勉強する人もいれば、頭をひねりながらスタッフとボードゲームをする人もいます。

スタッフは、「ふあーすと」を利用する皆さんが、何を求めてやって来るのか、どうすればその求めに応えられるのかを常に考えています。学校に行きにくい小中高生や家に閉じこもりがちな若者のための「安心して過ごせる居場所」だからです。

一度見学においでください。「ふあーすと」(Firsst)で、新しい何かが始まり、新しい一歩が踏み出せるかもしれませんよ。

ふあーすと

(アスパル南隣り)

月～水曜日(祝日を除く)

午前9時～午後4時

☎0854・45・5176

☎0854・40・1072

教育委員会学校教育課

あなたにステキ。

Honda Cars 島根中央



安来店/安来市今津町677-1 TEL (0854) 22-0202(代)
松江中央店/松江東津田町1062 TEL (0852) 26-2000(代)
出雲中央店/出雲市渡橋町1166-1 TEL (0853) 25-3711(代)
出雲北店/出雲市高岡町598 TEL (0853) 23-2100(代)
浜田東店/浜田市長浜町796-3 TEL (0855) 26-0885(代)



雲南市・大東町

はまもと内科クリニック

院長 医学博士 濱本直治 副院長 医学博士 濱本幸子
日本内科学会 内科専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会 肝臓専門医

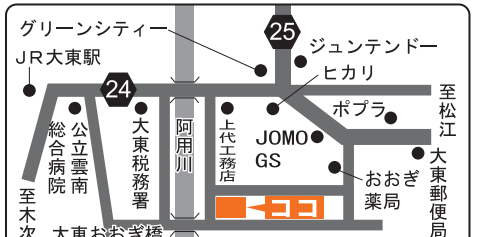
☎0854-43-9174 雲南市大東町大東1012-5

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	●	●	●	●	●	●
16:00~18:00	●	●	●	×	●	×

往診時間
14:30~16:00

※休診日 日曜、祝日

P有り





年金記録はいつでも
ご確認いただけます

市民生活課

☎0854-40-11031

社会保険庁には、年金記録の確認に迅速に対応できるように専用の年金相談窓口が設置されています。

複数の年金制度の加入歴がある方や改姓された方など、年金加入記録に不安や疑問がある方は、社会保険庁にご相談ください。

ご相談の際は、年金手帳、基礎年金番号通知書、年金証書のいずれかをご用意ください。

なお、年金手帳等が見当たらない場合は、本人であることが確認できるもの（運転免許証・保険証等）をご用意ください。

代理人の方がお越しになる場合は、「依頼状」と代理人の方の本人確認ができるものが必要で

す。次のいずれかの方法でお問い合わせください
社会保険事務所の窓口
電話 0852-262800

「ねんきんダイヤル」
☎0570-051165
フリーダイヤル
0120-657830
インターネットの「e-PA」
スワード方式による年金加入履歴の取得
<http://www.sia.go.jp>

国民年金保険料の
免除制度のご紹介

市民生活課

☎0854-40-11031

国民年金制度には、日本に住む20歳から60歳までの方が加入しなければなりません。その中でも第1号被保険者（自営業、短期アルバイト、学生など）に該当する方は、毎月14,100円の保険料を納めなければなりません。収入が少ない、失業したなど、経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合は、保険料免除制度がありますのでご利用ください。

保険料免除制度には、全額免除、4分の1納付（3/4免除）、半額納付（半額免除）、4分の3納付（1/4免除）



の4種類があります。これらの制度を利用するためには、申請手続きを行っていただきますが、ご本人、配偶者、世帯主の前年の所得が一定の基準以下であることが必要です。保険料納付免除に承認された期間は、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金などの受給資格期間に算入されます。ただし、一部納付で承認された期間は、納付すべき保険料を納められない場合は免除ではなくなり、受給資格期間に数えられませんのでご注意ください。

また、老齢基礎年金の年金額を計算する際には、国庫負担金が年金額に反映されるため、たとえば全額免除の期間は全額納付の場合の1/3の額となります。（4分の1納付、半額納付、4分の3納付は、それぞれ1/2、2/3、5/6となります。）

保険料納付を免除された期間は、将来受け取る年金が少なくならないよう、10年以内に納付することができます。この場合、承認された期間が属する年度から起算して3年

国民健康保険
高齢者受給者証の更新

市民生活課

☎0854-40-11031

雲南市国民健康保険の高齢受給者証の有効期限は平成19年7月31日です。

7月末に新たな受給者証（8月1日付）を送付しますので、8月以降は新たな受給者証を医療機関に提示してください。（国民健康保険被保険者証は10月1日が更新日です。今回は高齢受給者証のみ送りますので、間違えないようお願いいたします。）

なお、70歳以上の国保加入者それぞれが市民税の課税所得145万円未満であれば、その世帯の高齢受給者の負担割合は1割ですが、同一世帯に市民税の課税所得が145万円以上の70歳以上の国保加入者が一人でもいる場合は、同一世帯の高齢受給者全員の負担割合が3割になります。ただし、自己負担が3割になる方でも、申請によって自己負担が1割となる場合があります。

度目以降に納付する場合は経過した年数に応じて一定の加算額が加わります。

このほか、「若年者納付猶予制度」（30歳未満の方が対象）、「学生納付特例制度」（学生が対象）がありますので、国民年金保険料納付にお困りの場合は各社会保険事務所、市役所市民生活課、又は各総合センター自治振興課の国民年金の窓口へご相談ください。

平成19年度の1ヶ月の一部納付額

	一部納付額
4分の1納付	3,530円
半額納付	7,050円
4分の3納付	10,580円

免除や一部納付の対象となる所得基準の [めやす]

世帯構成	全額免除	一部納付		
		1/4納付	半額納付	3/4納付
4人世帯(ご夫婦、子供2人)	162万円	230万円	282万円	335万円
2人世帯(ご夫婦のみ)	92万円	142万円	195万円	247万円
単身世帯	57万円	93万円	141万円	189万円

ります。

また、国の制度改正により、現在自己負担割合が1割の方は、平成20年4月1日から2割の自己負担になりますので、今回の受給者証は平成20年3月31日を期限として発行します。

老人保健
医療受給者証の更新

市民生活課

☎0854-40-11031

老人保健制度で医療を受けられる方の医療機関での負担割合（1割または3割）は毎年8月1日を基準日として決定しております。

変更がある方には新しい「医療受給者証」を郵送で送付しますので、8月1日以降に医療機関にかかれる場合は必ず新しい医療受給者証を窓口に表示してください。

「みんなが主役 省エネでつくる環境のまち」
実践にご協力ください～その②～

市民部環境対策課 ☎0854-40-1033

★節水で省エネ

暑い夏。水をうっかりと使いすぎていませんか。炊事・洗濯・お風呂等私たちの生活には水が欠かせません。しかし、水の供給にはたくさんの電気を使っています。つまり、節水は省エネにもつながるのです。

水を流す時間を1分短くするだけで、1回約12リットルの節水になります。水を大切に使い、省エネを実践してみてください。



今月の税金

・国民健康保険料（第4期）
・固定資産税（第2期）

納期限は
7月31日(火)

広告枠

広告枠

自衛官募集

総務部総務課 ☎0854-40-1021
 自衛隊島根地方協力本部出雲地域事務所 ☎0853-21-0831
<http://www.mod.go.jp/pco/shimane/>
 自衛隊では、次のとおり自衛官を募集します。



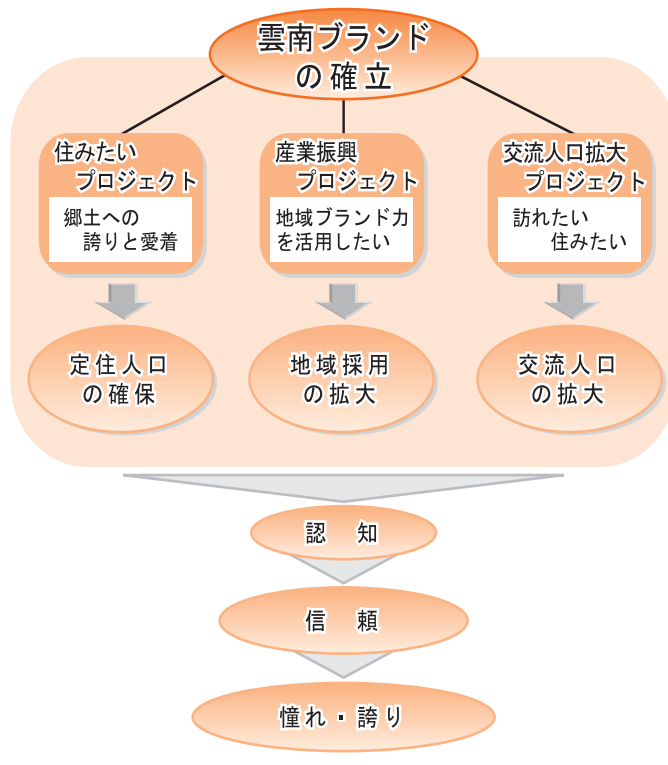
区分	一般曹候補生 陸上・海上・航空自衛隊	航空学生 海上・航空自衛隊の パイロット	2等陸・海・空士 陸上・海上・航空自衛隊
応募資格	18歳以上27歳未満	高卒(見込含)21歳未満	18歳以上27歳未満
応募期間	8月1日(水)～9月7日(金)		
採用試験	9月17日(祝)	9月22日(土)	9月25日(火)

2等陸・海・空士の男性の試験は、筆記試験・適性検査・作文を9月17日(祝)に、
 身体検査及び口述試験を9月19日(水)～9月21日(金)のいずれか1日に行います。
 応募期間も別になっています。詳しくはホームページをご覧ください。

頑張る地方応援プログラムに応募
雲南ブランド化プロジェクト

政策推進課
 ☎0854-40-1011
 「魅力ある地方」に向け、
 独自のプロジェクトを考え前
 向きに取り組む地方自治体に
 対し、総務省が3年間地方交
 付税等の支援措置を講じる
 「頑張る地方応援プログラム」
 に、雲南市は「雲南ブランド
 化プロジェクト」を応募しま
 した。

雲南ブランドを確立し、雲
 南市の存在意義やふるさとへの
 の愛着、誇りを高め、雲南市
 の一体感を醸成することによ
 り、雲南市総合計画に定める
あしがひらけよう
 平成19年度雲南ブランド
 化プロジェクトに対する寄
 付をいただきました。
 紹介し、お礼に代えさせ
 ていただきます。
 (敬称略)
 ホシザキ電機株式会社
 代表取締役 坂本精志
 寄付金 二千万円



まちづくりの基本理念「生命
 と神話が息づく新しい日本の
 ふるさとづくり」を実現する
 ことが目的です。
 また、雲南ブランドを活用
 して、「郷土への誇りや愛着
 による定住人口の拡大」、「地
 域ブランドを活用した産業活
 動の活性化による雇用の拡大」、
 「都市との共生、交流による
 交流人口の拡大」に一体的に
 取り組みます。

7月の古紙回収

環境対策課
 ☎0854-40-1033
 ダンボール・雑誌類・新聞
 紙・広告チラシの古紙回収事
 業を次のとおり行います。
 少量の新聞、雑誌は燃やせ
 るゴミとして出すこと(ゴミ
 の分別表に記載)もできます
 が、普段出されるゴミのうち
 ダンボール・雑誌類・新聞紙・
 広告チラシはなるべく古紙回
 収(リサイクル)にまわし、
 ゴミの減量化にご協力をお願
 いします。

町	持ち出し日	持ち出し場所
大東町	7月15日	大東町体育文化センター、春殖公民館、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世公民館、西阿用個人倉庫、阿用公民館、下久野リサイクルボックス、久野公民館、海潮公民館、須賀リサイクルボックス、塩田公民館
加茂町	7月1日	自治会単位
木次町	7月15日	雲南市役所職員駐車場、斐伊体育館東側ゲートボール場隣駐車場、西日登公民館、温泉公民館、日登公民館
三刀屋町	7月8日	三刀屋総合センター別館1階(公用車庫)、一宮公民館、飯石公民館、鍋山公民館、中野公民館、根里振興会館

持ち出し日には、公民館の
 ご協力により、集積ボックス
 の鍵を開けていただいており
 ます。
 吉田町、掛合町の古紙回収
 は今までどおりです。
 【古紙回収の注意事項】
 品目ごとに紐でくくる
 1 絡みは10kg以内
 持ち出しは当日のみ
 持ち出し場所は、施設内の
 決められた集積場所

出前パソコン講座募集

情報政策課
 ☎0854-40-1015
 市では、5名から10名の団
 体(グループ)を対象とした
 初心者向けパソコン講座の出

永井隆博士は、廃墟となった原子野にいち早くた
 ち帰り、石垣に古トタンをもたせ掛けた小屋に住み
 町の復興を呼びかけました。
 どん底の生活でしたが、「みんなに勇気を…」と
 の願いが彷彿します。



「平和を」の都市宣言のまち
永井隆博士生誕100年
 シリーズ④
 平成19年は、永井隆博士生誕100年の年にあたるこ
 とから、博士が残した恒久平和と隣人愛のメッセー
 ジを振り返り、顕彰していきます。

永井隆記念館 ☎0854-45-2239

前講座を実施しています。
 詳しくは、雲南市ホームページ
 をご覧いただくか、情報政
 策課までお問い合わせのうえ、
 お申し込みください。
 なお、個人での申し込みは
 できません。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

みんなでまちづくりについて語りましょう
～まちづくり懇談会共催団体の募集について～

市長が市民の皆様と直接お会いし、ふるさとの恵みを活かした魅力あるまちづくりについて語り合い、市民の皆様と行政の協働による「新しい日本のふるさとづくり」をめざすため、市長との懇談を希望する団体と共催で「まちづくり懇談会」を開催します。

懇談会の開催要領

【募集团体】

市内に本拠地を置き市内で活動をする団体で、雲南市のまちづくりについて市長に提言し、懇談を希望する団体。

懇談会の出席者は、10名以上とし、十分な意見交換ができる範囲内とします。

【開催日時、場所】

平成19年7月～平成20年3月（申し込みにより順次開催します。）

会場の確保は、原則、共催団体で確保してください。

開催時間は2時間以内を目途とします。

【テーマ】

特定の専門的・個別的事項に偏ったものや、単に団体のPRとなるもの、陳情・要望のみを目的としたものでなく、幅広く市民の関心と呼び、ま

ちづくりに役立つテーマとします。

【申し込み方法】

開催希望される団体は、事前に政策企画部情報政策課（☎0854-40-1015）または各総合センター自治振興課までご連絡ください。詳しい開催要領等についてご説明し、申込書を提出していただきます。

【共催団体の決定等】

共催団体の決定は、開催テーマ・受入体制等を勘案して決定します。結果は、後日、電子メールまたは電話・郵送等で通知します。

【その他注意事項】

- 懇談会の司会進行は、共催団体の方でお願いします。
- 懇談会の模様は、CATVや報道機関が取材することがあります。
- 共催団体は、共催にあたって市が必要と認めて行なう指示に従っていただきます。
- 共催団体は、懇談会関連の記録や成果の広報に協力いただきます。
- 市長等の日程調整には時間を要するため、なるべく早めの応募をおねがいします。

情報政策課 ☎0854-40-1015

税務職員募集

国税庁では、次のとおり税務職員を募集しています。

【申込期間】

平成19年6月26日（火）～平成19年7月3日（火）

【問い合わせ】

広島国税局総務部
人事第二課試験研修係
〒730-8521
広島市中区上八丁堀6-30
☎082-2221-9211
大東税務署総務課
☎0854-43-2360

裁判官募集

裁判所は、次のとおり裁判所事務官採用 種試験を行います。

【申込期間】

平成19年7月17日（火）～平成19年7月25日（水）

【第1次試験】

平成19年9月16日（日）

【問い合わせ】

松江地方裁判所事務局
総務課人事第一係
〒690-8523
松江市母衣町68
☎0852-23-1701

広 告 枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

巡回女性相談と
定期巡回児童相談

健康推進課

☎0854-40-1046
次のとおり巡回相談を行います。相談は無料ですのでお気軽にご利用ください。

【巡回女性相談】

7月27日（金）

午前9時～午後1時

掛合まめなかセンター

【定期巡回児童相談】

7月18日（水）

午前10時～午後4時

（受付は午後3時まで）

かもてらす

相談を希望される方は、出雲児童相談所（☎0853-21-0007）または、健康推進課へお申し込みください。

個別検診の時間変更

健康推進課

☎0854-40-1046

6月から各医療機関で個別健診を行っています。大東町の晴木医院では、土曜日（午前9時～12時）も受診できるようにになりましたのでお知らせします。

人権啓発ポスター募集

雲南市人権センター

☎0854-42-1767

人権についての理解と認識を深め、人権尊重の意識を高めることを目的に、人権啓発に関するポスターを募集します。

【応募資格】

島根県内の小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の児童、生徒ならびに一般市民

【応募作品】

用紙は八つ切りまたは四つ切りとし、人権尊重意識の高揚を呼びかける内容のポスターで、スローガンやキャッチフレーズを書き入れてください。作品の裏に応募票を貼って提出ください。応募票は島根県人権啓発推進センターホームページ（http://www.pref-shimane.jp/jinkenkehatsu/）に掲載しています。

【応募締切】

平成19年9月11日（火）

【応募・問い合わせ】

〒690-8501
松江市殿町1番地
島根県環境生活部人権同和対策課（人権啓発推進センター）
☎0852-22-6051

と き	平成19年8月5日（日） 8：30発～16：00着（大東総合センター前集合・解散）
行 き 先	八重滝、竜頭が滝、雲見の滝、酒蔵資料館 ほか
参 加 費	大人3000円（中学生以下1500円・昼食代含む）
募 集 人 員	20名（先着順）/ 締切り 7月18日（水）
主 催	だいたい未来塾 / 後援 雲南市大東総合センター
申 し 込 み ・ 問 い 合 わ せ	大東総合センター自治振興課（0854-43-8168）

雲南市内行ったことないところツアー第2弾

掛合・三刀屋水めぐり編。雲南市民なのに、市内には知らないところがたくさんあります。

雲南市の素晴らしさを楽しめるスポットを巡るツアーの第2弾、今回は「水」をテーマ

マに開催します。夏休みの暑いひととき、涼みに出掛けましょう！子どもだけの参加や親子連れも大歓迎です。

事務所移転のお知らせ

（助ふるさと島根定住財団

松江事務局

☎0852-28-0690

ジヨブカフェしまね

☎0852-28-0691

ふるさと島根定住財団松江事務局及びジヨブカフェしまね松江センターは、利用者の利便性をさらに向上させるために、次の場所に移転します。移転作業のための休業を含めご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

【移転場所】

松江テルサ（松江勤労者総合福祉センター）3階
〒690-0003

松江市朝日町478-18

住所以外（電話・FAX・E-mail）は変更ありません。

【業務開始日】

6月25日（月）

【移転に伴う休業】

6月21日（木）～24日（日）

広 告 枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

子育て支援センターなどのスケジュール

だいたい	子育てサロン 9:30~	木馬 おおき 毎週火・木曜日 ほかほかひろば 幡屋公民館 2日(月) うしお 桂荘 13日(金)
	保育園 開放日	大保 4日、11日、18日、25日(水) かもめ 6日、13日、20日、27日(金) あおぞら 6日、13日、20日、27日(金)
かも	地域サークル 9:30~	幡屋公民館 23日(月)、阿用公民館 17日(火) 久野公民館 18日(水)、佐世公民館 19日(木) おおき 20日(金)
	教室・相談 あおぞら	子育て教室 5日(木) 9:30~11:30 赤ちゃん教室 10日(火) 9:30~11:30 子育て相談 13日(金)、27日(金) 10:00~17:00
きすき	おおぎっこサークル	おおき 3日(火) 9:30~11:30
	子育てサロン 10:00~	つくしっこ広場 かも 毎週水曜日 4日(七夕まつり)、11日、18日、25日(誕生会) ぶちつくしっこ広場 かもてらす 第2・第4金曜日 13日(シャボン玉であそぼう)、27日(フリースペース)
きすき	支援センター かも	おはなしのへや 2日(月) すくすく親子運動教室(3日体操) 6日(金) りんごちゃん広場(0~1才半まで) 10日(火) れもんちゃん広場(1才半以上) 19日(木) 子育てママのリフレッシュタイム(要予約) 12日(木)、23日(月)
	支援センター きすき	子育て講座「トイレトレーニング」(要予約) 3日(火) 笹飾り作り 4日(水) 七夕(要予約) 5日(木) ペットボトル工作 10日(火) 誕生会 13日(金) 夏まつり(要予約) 21日(土) ミュージックケア(要予約) 26日(木) 同級生集いの日 うさぎちゃん 3日(火)、 りすちゃん 10日(火)、ひよこちゃん 17日(火)
みとや	出前保育	西日登公民館 11日(水) 10:00~
	教室・相談 きすき	ベビーマッサージ 17日(火) プレママ(妊婦)と子育てママの育児相談 9日(月)9:30~受付
よしだ	社協子育てサロン 10:00~	日登公民館 18日(水) 高齢者コミュニティセンター 25日(水)
	支援センター みとや	乳幼児育児相談 6日(金) 10:00~ 妊婦さん相談 6日(金) 11:00~ 赤ちゃん広場(水遊びをしよう!) 13日(金) 10:00~ わくわくおはなし会 23日(月) 10:00~ (朗読ボランティアごたまの会を迎えて) あそぼう広場(野菜でスタンプ遊びをしよう!) 27日(金) 10:00~
かけや	保育園 開放日	よしだ・たい 5日(木)、14日(土) 9:30~
	子育てサロン	あいよあいくらぶ 吉田健康福祉C 11日(水) 9:30~11:30
かけや	保育園開放日 夢の子	11日(水)、18日(水)、25日(水) 18日は昼食試食会(要予約)
	教室・相談	子育て相談 11日(水) 夢の子 七夕会 4(水)9:30~11:30 掛合公民館 かたらだんご作り 23(月)9:45~11:20 入間公民館
かけや	子育てサロン	ゴーゴー★サロン 好老センター 12(木)、19(木) 9:30~11:30

大東保育園 ☎43-6132 : 大保、かもめ保育園 ☎43-3010 : かもめ、あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 : あおぞら、地域福祉センターおおき ☎43-5610 : おおき、大東農村改善センター桂荘 ☎43-2414 : 桂荘、加茂子育て支援センター ☎49-6723 : かも、木次町子育て支援センター ☎42-2030 : きすき、社会福祉協議会木次支部 ☎42-9080、社会福祉協議会三刀屋支部 ☎45-3659、三刀屋子育て支援センター(三刀屋健康福祉センター内) ☎45-9501 : みとや、吉田保育所 ☎74-0330 : よしだ、田井保育所 ☎75-0201 : たい、かけや夢の子園 ☎62-9900 : 夢の子 Cはセンター、市外局番はいずれも0854

図書館だより

雲南市立大東図書館 ☎0854-43-6131

7月の休館日 毎週金曜日、16日(祝)、31日【図書整理日】

イベント案内 こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 午前11:00~
わらべうたあそびなど

新着の本(抄) ▼島本理生「大きな熊が来る前に、おやすみ。」 ▼藤堂志津子「かげろう」 ▼島中恵「まんまこと」 ▼真保裕一「最愛」 ▼諸田玲子「妊婦にあらず」 ▼藤田宜永「リミックス」 ▼瀬尾まいこ「見えない誰かと」 ▼渡辺淳一「鈍感力」 ▼松濤弘道「お経の基本がわかる小事典」 ▼水谷修「夜回り先生のねがい」 ▼坂東真理子「女性の品格 装いから生き方まで」 ▼森まゆみ「自主独立農民という仕事」 ▼天井勝海「世界遺産 建築の不思議」 ▼藤原勉「漢方の知恵」 ▼武藤悦子「オーラノマ・ポトルメッセージ」 ▼小林真理「指定管理者制度 文化的公共性を支えるのは誰か」 ▼田尾雅夫ほか「よくわかるNPO・ボランティア」ほか

雲南市立木次図書館 ☎0854-42-1021

7月の休館日 毎週月曜日、17日(火・祝日振替)、31日【図書整理日】

イベント案内 「おはなしレストラン」7日(土) 10:30~
「よみかたりのじかん」毎週木曜日 15:30~

新着の本(抄) ▼瀬戸内寂聴「秘花」 ▼幸田真音「バイアウト」 ▼加藤廣「明智左馬助の恋」 ▼河野多恵子「臍の緒は妙薬」 ▼宮部みゆき「ドリームバスター(4)」 ▼藤本ひとみ「離婚美人」 ▼中村彰彦「天保暴れ奉行」 ▼榎周平「陪審法廷」 ▼桐野夏生「メタボラ」 ▼堀江敏幸「めぐらし屋」 ▼柴田よしき「小袖日記」 ▼今野敏「果敢」 ▼辻原登「円朝芝居 断 夫婦幽霊」 ▼金原ひとみ「ハイドラ」 ▼石田衣良「Gボーイズ冬戦争」 ▼澤田ふじ子「暗殺の牒状」 ▼ポプ・グリーン「ABCDJ」 ▼森まゆみ「自主独立農民という仕事」 ▼坂東真理子「女性の品格」 ▼佐伯チズ「美肌生活」 ▼江原啓之「天国への手紙」 ▼小栗左多里「イタリアで犬の字」 ▼山崎典子「元気な子どもの野菜レシピ」 ▼原ちず子「はらいたらに全部」 ▼田中有久子「田中有久子生きる美学」 ▼山脇由貴子「教室の悪魔」 ▼松井秀喜「不動心」 ▼北尾吉孝「何のために働くのか」 ▼高文謙「周恩来秘録(上)(下)」 ▼さとう珠緒「超教養」 ▼香川照之「日本魅録」 ▼池波志乃「食物のある風景」 ▼瀧音能之「図説 出雲の神々と古代日本の謎」 ▼秋山祐徳太子「プリキ男」 ▼金辰明「中国が北朝鮮を呑みこむ日」 ▼北野武「全思考」

雲南市立加茂図書館 ☎0854-49-8739

7月の休館日 毎週木曜日、16日(祝日)、31日【図書整理日】

司書がおすすめ! 読み語りにこんな本どうですか?

読み語りで実際に使った本をご紹介します。対象は小学生ですが、本によってはその限りではありません。ぜひ一度手にとってみてください。



『どろんどろんちゃん』
いとうひろし 作 ポプラ社
外でどろんこあそびによく季節です。どろんこ遊びの前か後にこの本をよんであげたら、もっと楽しくなるかもしれません。どろんこを使って描いたようなこの絵本は迫力いっぱいどろんこ遊び楽しさを大人にも思い起こさせます。これを読めばどろんちゃんの作り方もわかりますよ。

『わにわにのおふる』小風さち ぶん
山口マオ え 福音館書店

どろんこ遊びのつぎにしたいくなることは、おふるで水遊び?この絵本の主人公はワニですが、普通のお家に住んでいます。ユーモラスでとてもかわいいワニです。この本は福音館書店から出版されている雑誌、『年少版・こどもものとも』からハードカバーの本として再刊されました。



雲南市の

今年はどこに行こうかな!?



木次夏祭り



7月20日(金) 17時30分
【会場】斐伊川堤防、木次町商店街
※ローソク祭(斐伊川の水面に1,000本のローソクが燈され、幻想的な祭りが繰り広げられる)花火大会 20時(予定)

二十三夜祭

7月23日(月) 18時30分~

【会場】加茂町連担地
焼火神社神事、みこし行列、左義長(こども太鼓)、花火大会ほか

夜神楽大会



7月21日(土) 19時30分~ 【会場】大東町須賀 神楽の宿
※神楽の宿で夜が更けるまで神楽を上演します。(入場無料)

吉田夏祭り

7月28日(土) 15時~

【会場】吉田町吉田 稲わら工房周辺
※子どもみこし、ステージイベント、花火大会ほか(予定)



広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

7
2007
July

市民カレンダー



問い合わせ
(市外局番は0854)

各種健診に関すること

- 健康福祉部健康推進課
☎40-1045
大東健康福祉センター
☎43-6142
加茂健康福祉センターかもてらす
☎49-8612
木次健康福祉センター
☎40-1083
三刀屋健康福祉センター
☎45-9501
吉田健康福祉センター
☎74-0215
掛合健康福祉センター/好老センター
☎62-0056
まめなかセンター ☎62-0231
島根県雲南保健所 ☎42-9642

イベント・その他

- 雲南市議会事務局 ☎40-1004
大東公園市民体育館
☎43-5511
大東農村改善センター『桂荘』
☎43-2414
雲南市加茂文化ホール・ラメール
☎49-8500
加茂B&G海洋センター
☎49-7100
雲南市木次体育館 ☎42-0375
木次経済文化会館チリヴァホール
☎42-1155
三刀屋文化体育館アスバル
☎45-9222
吉田勤労者体育センター
☎74-0211
吉田公民館 ☎74-0219
吉田町田井公民館 ☎75-0312
雲南市掛合体育館 ☎62-0013
掛合町まめなかセンター
☎62-0231

開催場所

- 大…大東町
- 加…加茂町
- 木…木次町
- 三…三刀屋町
- 吉…吉田町
- 掛…掛合町
- 他…その他

SPコードとは
音声読み上げ用の
2次元コードです。
このコードを専用
装置で読み取るこ
とで、記録されて
いる情報を音声に
変換することができます。



日	月	火
1 ☎雲見の滝 滝開き ☎古紙回収	2 ☎断酒会 (かもてらす 18:30~20:30) ☎基本健診 (掛合健康福祉センター 8:30~14:00)	3 ☎基本健診 (掛合健康福祉センター 8:30~14:00)
8 ☎古紙回収	9 ☎胃がん検診 海潮地区 (大東健康福祉センター 7:30~10:00)	10 ☎断酒会 (大東地域福祉センターおおぎ 19:00~) ☎胃がん検診 飯石地区 (飯石雲見の里文化伝承館 8:20~9:30) ☎基本健診 阿用・久野地区 (雲南総合病院 8:30~10:30、13:00~15:00) ☎水中ウォーク教室 (三刀屋健康福祉センター 10:00~11:30)
15 ☎☎古紙回収	16 海の日 ☎断酒会 (木次町下熊谷地域福祉サブセンター 19:00~)	17 ☎結核検診 (9:00~15:20)
22 ☎☎古紙回収	23 ☎アルコールによる困りごと相談 (島根県雲南保健所 13:00~ 予約制) ☎基本健診 (吉田健康福祉センター 9:00~15:00) ☎二十三夜祭	24 ☎基本健診 (吉田健康福祉センター 9:00~10:00、田井公民館 13:00~14:30) ☎離乳食教室 (大東健康福祉センター9:00~)
29 ☎☎古紙回収	30 ☎ふれあいロードマラソン (田井公民館 9:15~ 開会式)	31 ☎結核検診 (9:00~11:40) ☎肺がん検診 (加茂健康福祉センター 13:30~15:00)

日時 7月29日(日) 9:00~16:30
場所 吉田町 たたら鍛冶工房
申し込みは ☎0854-74-0311 まで

夏 鍛冶の達人と
包丁づくり体験!

全国高総文祭しまね大会開催



日時：平成19年8月1日(水)~8月2日(木)
会場：アスパル(雲南市三刀屋町)

問い合わせ先：三刀屋高校 織部 ☎0854-45-2721

第31回全国高等学校総合文化祭が7月29日から8月2日まで県内各地で開催され、雲南市では日本音楽部門のコンクールが行われます。各都道府県の代表校が箏・三絃・尺八などによる楽曲や雅楽曲などを演奏し、レベルの高い熱演が繰り広げられます。



水	木	金	土
4 ☎基本健診 (掛合健康福祉センター 8:30~14:00) ☎サンサン教室 (掛合公民館 9:30~)	5 ☎乳児健診 大東・加茂地区 (大東健康福祉センター 4か月 13:00~、10か月 13:45~) ☎断酒会 (吉田ふるさとセンター 19:00~)	6 ☎胃がん検診 (田井公民館 8:00~9:00) ☎育児相談 (三刀屋健康福祉センター 10:00~)	7 ☎大東リサイクル推進大会
11 ☎こころの健康&もの忘れ相談 (島根県雲南保健所 13:00~ 予約制) ☎胃がん検診 新市・下熊谷地区 (木次健康福祉センター 8:00~9:00) ☎基本健診 佐世・阿用地区 (雲南総合病院 8:30~10:30、13:00~15:00) ☎サンサン教室 (波多公民館 9:30~)	12 ☎乳児健診 木次・三刀屋・吉田・掛合地区 (木次健康福祉センター 4か月 13:00~、10か月 13:45~) ☎高齢者体操教室 (大東健康福祉センター 9:30~10:30) ☎献血 (大東総合センター 9:00~10:30、JA雲南大東支店 11:00~11:50、九州住電装機島根工場 12:20~13:10、グリーンシティー 14:30~15:20、公立雲南総合病院 15:50~16:40)	13 ☎肺がん検診 (木次健康福祉センター 9:30~15:00) ☎サンサン教室 (入間公民館 9:30~)	14 ☎☎古紙回収
18 ☎1歳6か月・3歳児健診 大東・加茂地区 (加茂健康福祉センター 1歳6か月 13:00~、3歳 14:00~) ☎定期巡回児童相談 (かもてらす 10:00~16:00) ☎断酒会 (掛合まめなかセンター 19:30~) ☎献血 (シャティギフトこばやし三刀屋店 9:00~10:00、JA雲南三刀屋支店 10:30~11:30、三刀屋金属 12:00~12:45、みしまや三刀屋店 15:00~16:00) ☎サンサン教室 (掛合公民館 9:30~)	19 ☎結核検診 (9:00~15:30)	20 ☎胃がん検診 中野地区 (中野多目的集会センター 8:20~9:30) ☎育児相談 (加茂健康福祉センター 13:30~) ☎さわやかくらぶ (好老センター 10:00~) ☎木次夏祭り	21 ☎夜神楽大会 (神楽の宿 19:30~)
25 ☎胃がん検診 多根地区 (多根生活改善センター 8:20~9:00) ☎サンサン教室 (波多公民館 9:30~) ☎三刀屋天満宮夏例祭	26 ☎1歳6か月・3歳児健診 木次・三刀屋・吉田・掛合地区 (三刀屋健康福祉センター 1歳6か月 13:00~、3歳 14:00~) ☎高齢者体操教室 (大東健康福祉センター 9:30~10:30) ☎交通事故巡回相談 (出雲市役所 9:00~15:00)	27 ☎結核検診 (9:00~15:50) ☎巡回女性相談 (掛合まめなかセンター 9:00~13:00) ☎特設人権相談所 (掛合まめなかセンター 9:00~13:00) ☎サンサン教室 (入間公民館 9:30~)	28 ☎断酒会 (三刀屋健康福祉センター 19:00~) ☎両親学級 (加茂健康福祉センター 13:30~) ☎吉田夏祭り
<p>Let's Cooking! 夏休み親子お菓子作り</p> <h3>第8回 国際料理教室</h3> <p>国際交流員と一緒に親子でお菓子を作りませんか？ 今回は、フルーツ・ピザやライス・クリスピー・トリート、ダートカップ、サンドカップを作ります。 日時 7月26日(木) 14:00~16:00 場所 かもてらす 定員 小学生とその保護者 30人まで ※材料費として一人500円程度必要です。 【問】国際交流室 ☎0854-40-1014</p>			

第17回 永井 隆 平和賞 作品募集

三刀屋町多久和の出身で、放射線医学の研究と原子爆弾により白血病におかされながらも「長崎の鐘」や「この子を残して」などの名作を著し、「如己愛人」、「平和を」の願いを全世界に訴え続けた“平和の使徒”永井隆博士の精神を21世紀を担う世代に伝え、人類普遍のテーマに取り組む機会と出会いの場を提供し、明るい日本の未来づくりに期するため、下記のとおり永井隆平和賞の作品を募集します。

【募集内容】 「愛」と「平和」に対する考えやメッセージを表現した作文および小論文

[小学生低学年(1～3年)の部] 作文...400字詰め原稿用紙2～3枚

[小学生高学年(4～6年)の部] 作文...400字詰め原稿用紙2～3枚

[中学生の部] 作文.....400字詰め原稿用紙3～4枚

[高校生の部] 小論文...400字詰め原稿用紙4～5枚

[一般の部] 小論文...400字詰め原稿用紙4～5枚

【募集期間】 平成19年7月1日(日)～7月31日(火)【当日の消印有効】

【応募方法】 応募用紙に、①題名、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤年齢、⑥電話番号、⑦部門名を明記して、作品と一緒に以下へ郵送

〒690-2404 島根県雲南市三刀屋町三刀屋199番地

永井隆記念館内 第17回島根県雲南市「永井隆平和賞」係
なるべく所定の応募用紙(ホームページに掲載)をご利用ください。

応募後の作品変更は出来ません。

応募作品は返却しません。

応募作品の著作権は主催者に帰属します。

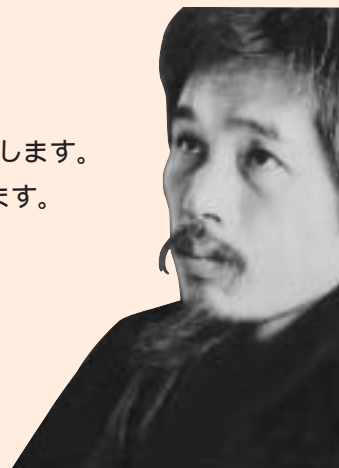
【その他】 部門ごとに最優秀賞(1名)、優秀賞(1名)、佳作(若干名)を決定します。
発表式典を9月10日(日)、三刀屋文化体育館アスパルにて開催します。

詳しくは、教育委員会生涯学習課にお問い合わせください。

☎0854-40-1073、FAX0854-40-1029

E-mail shougaigakushu@city.unnan.shimane.jp

詳細を雲南市ホームページ <http://www.city.unnan.shimane.jp/>
にも掲載しています。



編

集後記

「横長の文が読みにくいので、2段組みにしてはどうか?」との意見をいただきました。読んでみると、なるほど、言われるとおり読みにくい。行が変わるときに、元の行の頭に返ったり、一行飛ばしてしまったり。このような点は少しずつでも改善していきます。ご意見をお寄せください。

6月といえば、やっぱりホタル。右にも挙げたように、観賞バスが運行されるなど、初夏の風物詩です。ホタルが、まさに命を懸けて、一生懸命に飛翔する姿には心動かされます。

儂くも幻想的な光を眺めながら、もうひとつ思うことがあります。それは、毎年ホタルが舞う環境が守られているということです。私が学生のとき(10数年前)、実家の前の川ではほとんどホタルを見かけなくなっていました。私が最近、その川に再びホタルが舞うようになりました。「環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり」が実践され、ホタルが帰ってこられるくらい水がキレイになったからだと勝手に分析しています。毎年6月にホタルが眺められるように、できることに取り組んでいきたいと思えます。

季節ごよみ

6月9日と15日の両日、ほたる観賞バスが運行されました。ちよっと寒かったけど、神楽を見たり、ほたるを見たりと、楽しい夜のひとときが過ぎました。



・市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館にもあります。
・市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちらまで!

政策企画部 情報政策課

unnan-city@city.unnan.shimane.jp

人口 44,965人 男性・21,687人
世帯数 13,622世帯 女性・23,278人
(平成19年6月1日現在)